



1年学年だより

発行日：令和3年12月24日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 8

人権週間について

校長代理 富樫 哲一

12月4日（土）から10日（金）までは、第73回人権週間でした。日本全国、毎年、同じ時期に人権週間があるのですが、皆さんは知っていましたか。今回が「第73回」ということなので、随分前から、人権週間はあったことになります。

法務省の web ページでは、

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、昭和24年（1949年）から毎年、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

と紹介されています。

人権とは何でしょうか。「人間が人間らしく生きる権利」「誰もが生まれながらに持っている権利」「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」…。様々な表現の仕方があると思いますが、いずれにせよ人権は、日本国憲法でも保障されている最も重要な権利と言ってもよいでしょう。

世界的な視点でも、いまだ世界各国で解決されていない、外国人や障害のある人等への差別問題などの人権問題は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するためにも、全世界で解決に向けて取り組んでいかなければならない課題となっています。

さて、本校では、人権教育目標を、

全教育活動を通して

- ・子どもの自尊感情を高め、自身の人権を守るとともに、他者の人権を守ろうとする態度を育てる。
- ・人権にかかわる問題を適切に指導し、人権問題の解決を図ろうとする態度を育てる。

として掲げています。全教育活動とあるのは、教科の授業や、道徳の時間に人権侵害の実態を知る学習や、人権の歴史を理解する学習を通して、人権の大切さを理解してもらうだけではなく、総合的な学習の時間（EGG）で、構成的グループエンカウンター、コミュニケーション研修、EGG体験講座の参加などを通し、豊かな人間関係をつくることも人権教育の一環であることを表します。さらに、人権作文コンテストやよこはま子ども国際平和スピーチコンテストへの参加も人権を尊重する態度を育てる教育活動の一つです。また、12月は「横浜市いじめ防止月間」でもありました。学校で起こりうる「人権問題」として、もしかしたら、皆さんの頭に真っ先に浮かぶかもしれない「いじめ」についても、重大な人権侵害の一つとしてとらえています。時に報道されるような取り返しのつかない、重大な結果につながるようなことがないように、アンケート調査や教育相談などを学校全体で引き続きしっかりと行っていきます。いつもお願いしていますが、困ったことや不安なことがあったら、保護者の方や担任の先生など、周りの大人に躊躇することなく相談してください。私も相談を待っている一人です。

最後に本当に素晴らしいニュースです。

第40回全国中学校人権作文コンテスト中央大会

日本放送協会会長賞

3年 霧生 帆南（きりう はんな）さん 「同情ではなく共感を、そして協力を」

2021を締めくくる学年集会

2021年もあとわずか、1年生生活も残すところ3か月になりました。オリンピック・パラリンピックは遠い昔の話？のように感じてしまいますが、9月1日から分散登校で始まった2学期は長かったですでしょうか？あっという間でしたか？次々と寄せてくる新しい中学校生活の波に、10期生は精一杯乗って、毎日毎日お互い支え合って本当によくがんばりました。そんな2学期の締めくくりとして、12月18日(土)に学級委員会主催の学年集会が行われました。

2学期の反省の弁を述べる！？ 各クラスの学級委員の面々



分散登校が明けた頃は、どこかぎこちなさがあったが、今ではとてもにぎやかで温かい雰囲気教室が包まれています。しかし、もっと授業と休み時間のメリハリをつけることが各クラスの課題です！

各クラスの後期目標

- 1組「授業と休み時間のメリハリをつけられるクラスになろう」
- 2組「授業と休み時間のメリハリをつけ、1分前着席を守ろう」
- 3組「朝、教室に入ったら大きな声であいさつ」
- 4組「1分前から静かにして着席」

残された期間、頑張ることを寸劇で発表している一コマ

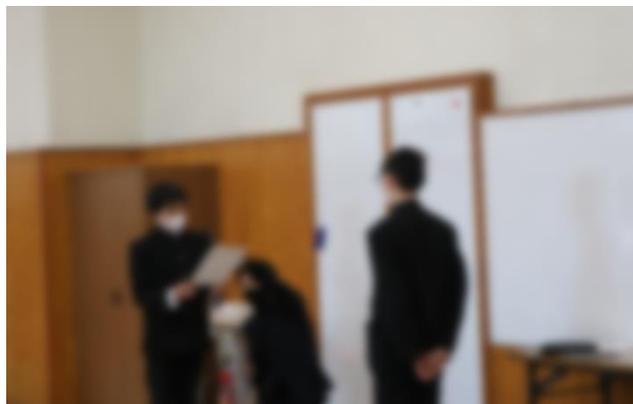


クラスで輝いていたで賞 授賞式

集会の最後は「2021 上半期クラスで輝いていたで賞」の授賞式でした。この賞は、掃除を頑張った人、クラスを支えた人、引っ張った人など、各クラスで事前に記入してもらったアンケートをもとに最も？クラスで輝いていた人に与えられました。受賞者は次の方々です。喜びの声をお聞きください。

1組：■■■■ (クラスを明るくしたで賞)

受賞した感想ですが、とても嬉しいです。そして、1組のみんなに伝えたいことがあります。それは、「自分が盛り上げようとするとき、みんな、二酸化マンガンと過酸化水素水を混ぜたときのように反応してくれてありがとう。」ということです。みんなが反応してくれたときは、楽しい空気が教室に発生しました。そのときは、とっっっても楽しかったです。2022年になっても、そんな楽しいクラスのままだいいと思います。自分はおっちょこちょいなので2022年になって、たまに「おかしい」発言をするときがあると思います。しかし、そのときは、おかしのように甘い対応をお願いします。 Have a great new year.



2組: (クラスを元気にしたで賞)

「輝いていたで賞」という、素晴らしい賞が貰えて、とても嬉しいです。みなさんご存知でしょうが、僕はとても元気でうるさいです。幼稚園、小学校ともに面談で最初に先生から発せられる言葉は「ん～。志村さんはとても元気な子で、いつもクラスを盛り上げてくれる子ですね。」だったそうです。そのくらい毎日元気です。半袖でうるさくて、廊下でピョンピョン跳ねている人が居たら、僕なので、ぜひ声をかけてください。「元気」という言葉は僕のモットーの一つであり、個性であると思っていたので、今回、このような形で褒めてもらえて、とても嬉しいです。あと約4ヶ月程でクラスが変わってしまいますが、変わるまでも、変わってから、クラスを盛り上げたり、友達と仲良くワイワイやっていったりしたいので、よろしく願いいたします。最後にいつも僕と仲良くしてくれて、みんなありがとう！本当にこんなうるさい僕に日々付き合ってくれて、めちゃくちゃ最っ高に嬉しいです。おかげで毎日のごっつ～楽しいし、「1日が48時間になれば良いのになあ」と思うくらいやりたいことがあって、充実した毎日を過ごしています。「これが青春(今、冬だけ)かあ～」と思いつつ、現在進行形で満喫しています。先生方も、日々、色々教えて下さり、ありがとうございます。今後も元気に！明るく！楽しく！頑張っていくのでよろしくお願いします。

3組: (黒板をきれいにしたで賞)

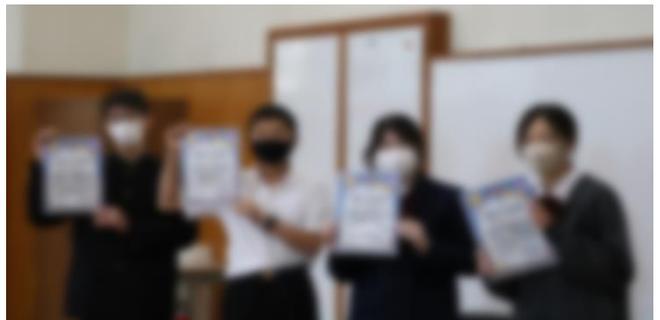
「輝いていたで賞」を、ありがとうございます。私が黒板の掃除をしているところを見られていて、それを覚えてもらえていることが分かってうれしいです。黒板をキレイすることで褒められるとやりがいを感じられて、より黒板への熱意が増します。

今まで私は特に得意であることを聞かれても自信をもって答えられませんでした。今なら、黒板の掃除と胸を張って言えます。黒板のおかげで、自分に自信を持てるようになったと思います。これからも黒板を掃除し、賞に恥じないよう周りに貢献していきたいです。

私が頑張っていたことは、周りのみんなが見てくれていました。でも本当はそれを手伝ってくれたり、応援したりしてくれた人の存在が大きいです。私を見てくれた分と同じくらいその人の頑張っているところや良いところを見つけたいです。また、黒板への熱意を勉強にも向けられるよう頑張りたいです。

4組: (イラストうまいで賞)

まさか自分が選ばれると思ってなくて嬉しかったです。絵を描くことが昔から好きで夏休みなどでは1日17時間、絵を描いたりしていました。ただ自分が絵を描くのが楽しく、「たたなづく」なども自分が楽しそうだと思って描くことにしました。ですがそこを先生方やクラスの友達などに評価されて、見てくれていたんだと実感でき、とても嬉しかったです。今まで、ただ自分が好きで自分のためにやっていたようなことが周りから認められ感謝されてこんなことでも周りのためになれると思い、少し自分にできることが見つかったような気がします。これからも沢山、絵を描いて自分にできることがあったら率先してやっていこうと思いました。ありがとうございました。



お知らせ

3学期は1月7日(金)に始まります。健康に気をつけて、有意義な年末年始をお過ごしください。

持ち物 ○体育館シューズ(始業式があります) ○冬休みのしおり ○冬休みの課題 ○お弁当

○金の123456の時間割 ※12月29日～1月3日は閉庁期間です。

姫のひとりごと 今年も間もなく終わろうとしています。今年の今頃は…と考えると、皆さんを取り巻く状況は大きく変わったことでしょう。最近の皆さんの様子を見ると「中学生になったなあ」と実感します。クラスや学年としての自然なまとまりも生まれ、来年ものびのびと、互いを認め合える10期生として成長してください。